

大阪市立川北小学校 令和 6 年度 運営に関する計画・自己評価（総括シート）

1 学校運営の中期目標

現状と課題

本校には、基礎学力の定着に課題のある児童や家庭環境の複雑さに起因する生活指導面に課題のある児童が複数在籍しており、基礎学力の定着、家庭と連携した生活指導の充実が不可欠である。

知育面では、児童の基礎・基本の定着に向けて、児童にとってわかりやすい授業づくり、児童の自主学習習慣づくり・家庭学習習慣づくり等に取り組む。また、コロナ禍における「児童の学びの保障」に向けて、ICT 機器（タブレット等）や双方向通信の環境の整備等をすすめ、オンライン学習を推進するとともに、教職員のオンライン学習における基礎的なスキル向上など、教職員研修を充実させる必要がある。

徳育面では、学校安心ルールを運用し、基本的生活習慣の確立、規範意識の育成や仲間づくりを通して、望ましい児童集団づくりをすすめる。また、児童の自尊感情の醸成を促す指導をすすめていく必要がある。

体育・健康面では、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、児童の体力や児童の「運動」に取り組む意識が低下していることが危惧される。児童の体力づくりや「運動」に取り組む意欲の向上を図るために、また、感染症対策や食育をはじめ、児童が自主的に健康管理及び規則正しい生活習慣を身につけることができるように、取組をすすめる必要がある。

中期目標**【安全・安心な教育の推進】**

- 令和 7 年度の学校児童アンケートにおける「学校は、楽しい」の質問に肯定的回答をする児童の割合を 90%以上にする。
- 令和 7 年度小学校学力経年調査における「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を 85%以上にする。
- 令和 7 年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。
- 令和 7 年度の学校保護者アンケートにおける「学校は、安全・安心な教育環境づくり（環境美化、環境衛生等）に努めている」の質問に肯定的回答をする保護者の割合を 90%以上にする。
- 令和 7 年度の学校児童アンケートにおける「学校や家庭・地域などで地震や津波・火災が起こったとき、どう行動したらよいか知っている」の質問に肯定的回答をする児童の割合を 90%以上にする。
- 令和 7 年度の学校保護者アンケートにおける「子どもたちは、学校のきまり（ルール）を守っている」の質問に肯定的回答をする保護者の割合を 90%以上にする。
- 令和 7 年度の学校児童アンケートにおける「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」の質問に肯定的回答をする児童の割合を 90%以上にする。
- 令和 7 年度の学校児童アンケートにおける「自分には、良いところがありますか」の質問に肯定的回答をする児童の割合を 70%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 令和7年度の学校児童アンケートにおける「授業はわかりやすい」の質問に肯定的回答をする児童の割合を85%以上にする。
- 令和7年度の小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対全国を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も令和4年度より0.03ポイント向上させる。
- 令和7年度の小学校学力経年調査における「外国語（英語）の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を70%以上にする。
- 令和7年度の小学校学力経年調査における「理科の勉強は好きですか」に対して、肯定的回答をする児童の割合を78%以上にする。
- 令和7年度の小学校学力経年調査における「学校の友だちとの間で話会う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を35%以上にする。
- 令和7年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査における体力合計点を令和5年度より全国平均に近づける。
- 令和7年度の小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることが好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を60%以上にする。
- 令和7年度の学校児童アンケートにおける「手洗いをしている」の質問に、肯定的回答をする児童の割合を90%以上にする。
- 令和7年度の学校児童アンケートにおける「給食を好き嫌いなく食べている」の質問に肯定的回答をする児童の割合を85%以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

- 令和7年度において、授業日において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の50%以上にする。[ただし、事務局が定める学校行事等 ICT 活用が適さない日数を除く]
- 令和7年度の学校保護者アンケートにおける「学校は、ICT（1人1台学習者用端末、デジタル教材、協働学習支援ツール等）を活用した学習をすすめている。」の質問に肯定的回答をする保護者の割合を80%以上にする。
- 令和7年度において、「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間に関する基準1を満たす教員の割合を85%以上にする。
- 令和7年度の学校児童アンケートにおける「読書が好きですか」の質問に肯定的回答をする児童の割合を80%以上にする。

2 中期目標の達成に向けた年度目標（全市共通目標を含む）

【安全・安心な教育の推進】

- 令和6年度の学校児童アンケートにおける「学校は、楽しい」の質問に肯定的回答をする児童の割合を87%以上にする。
- 令和6年度小学校学力経年調査における「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を77%以上にする。
- 令和6年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。
- 令和6年度の学校保護者アンケートにおける「学校は、安全・安心な教育環境づくり（環境美化、環境衛生等）に努めている」の質問に肯定的回答をする保護者の割合を89%以上にする。

- 令和6年度の学校児童アンケートにおける「学校や家庭・地域などで地震や津波・火災が起きたとき、どう行動したらよいか知っている」の質問に肯定的回答をする児童の割合を89%以上にする。
- 令和6年度の学校保護者アンケートにおける「子どもたちは、学校のきまり（ルール）を守っている」の質問に肯定的回答をする保護者の割合を90%以上にする。
- 令和6年度の学校児童アンケートにおける「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」の質問に肯定的回答をする児童の割合を89%以上にする。
- 令和6年度の学校児童アンケートにおける「自分には、良いところがありますか」の質問に肯定的回答をする児童の割合を67%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 令和6年度の学校児童アンケートにおける「授業はわかりやすい」の質問に肯定的回答をする児童の割合を84%以上にする。
- 令和6年度の小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対全国を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.01ポイント向上させる。
- 令和6年度の小学校学力経年調査における「外国語（英語）の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を67%以上にする。
- 令和6年度の小学校学力経年調査における「理科の勉強は好きですか」に対して、肯定的回答をする児童の割合を77%以上にする。
- 令和6年度の小学校学力経年調査における「学校の友だちとの間で話合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を32%以上にする。
- 令和6年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査における体力合計点を前年度より全国平均に近づける。
- 令和6年度の小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることが好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を59%以上にする。
- 令和6年度の学校児童アンケートにおける「手洗いをしている」の質問に、肯定的回答をする児童の割合を90%以上にする。
- 令和6年度の学校児童アンケートにおける「給食を好き嫌いなく食べている」の質問に肯定的回答をする児童の割合を84%以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

- 令和6年度において、授業日において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の50%以上にする。[ただし、事務局が定める学校行事等ICT活用が適さない日数を除く]
- 令和6年度の学校保護者アンケートにおける「学校は、ICT（1人1台学習者用端末、デジタル教材、協働学習支援ツール等）を活用した学習をすすめている。」の質問に肯定的回答をする保護者の割合を79%以上にする。
- 令和6年度において、「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間に関する基準1を満たす教員の割合を82%以上にする。
- 令和6年度の学校児童アンケートにおける「読書が好きですか」の質問に肯定的回答をする児童の割合を79%以上にする。

3 本年度の自己評価結果の総括（中期目標の総括も含む）

今年度の目標項目については、それぞれの取組内容や指標等を概ね達成することができた。

本校の児童の中には、基礎学力の定着に課題のある児童や外国につながる児童をはじめ、家庭環境の複雑さに起因する生活指導面に多様な課題のある児童が複数いる。

今後も、基礎学力の定着、家庭・関係機関等と連携した生活指導の充実が不可欠である。

知育面では、基礎学力の確実な定着をめざし、「授業の充実」に努めたが、「授業がわかりやすいですか」の質問に肯定的回答をする児童の割合が、1学期末より2学期末には約5ポイント程度下降した。「授業のわかりやすさ」が、児童の「学校生活の楽しさ」に大きく影響していると考えられる。

今後も、教員の授業力向上に向けて、授業研究活動を充実させるとともに、児童の基礎学力の向上につながる ICT 機器のより効果的な活用の研修等を推進させる必要がある。

徳育面では、学校安心ルールを運用し、基本的生活習慣の確立、規範意識の育成や仲間づくりを通して、一定の成果を上げることができた。引き続き、児童の自尊感情の醸成を促す指導等をすすめていきたい。

体育（健康）面では、全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果は、改善傾向にあるが、コロナ禍以降、児童の体力面や「運動」に取り組む意識の低下が危惧される。

今後も、感染症対策を継続し、児童の体力づくりや「運動」に取り組む意欲の向上に努める。また、食育をはじめ、児童が自主的に健康管理及び規則正しい生活習慣を身につけることができるように、引き続き、取組をすすめていく必要がある。

教職員の働き方改革については、教職員の日々の最終退勤時刻 18 時 30 分（4 時間授業期間：18 時 00 分）設定を定着させることができ、長時間勤務を大きく削減させることができた。

大阪市内 川北小学校 令和6年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【安全・安心な教育の推進】 ○ 令和6年度の学校児童アンケートにおける「学校は、楽しい」の質問に肯定的回答をする児童の割合を87%以上にする。 ○ 令和6年度小学校学力経年調査における「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を77%以上にする。 ○ 令和6年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。 ○ 令和6年度の学校保護者アンケートにおける「学校は、安全・安心な教育環境づくり（環境美化、環境衛生等）に努めている」の質問に肯定的回答をする保護者の割合を89%以上にする。 ○ 令和6年度の学校児童アンケートにおける「学校や家庭・地域などで地震や津波・火災が起こったとき、どう行動したらよいか知っている」の質問に肯定的回答をする児童の割合を89%以上にする。 ○ 令和6年度の学校保護者アンケートにおける「子どもたちは、学校のきまり（ルール）を守っている」の質問に肯定的回答をする保護者の割合を90%以上にする。 ○ 令和6年度の学校児童アンケートにおける「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」の質問に肯定的回答をする児童の割合を89%以上にする。 ○ 令和6年度の学校児童アンケートにおける「自分には、良いところがありますか」の質問に肯定的回答をする児童の割合を67%以上にする。	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	達成状況
取組内容①【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現】 ・すべての児童にとって、学びやすく、安全・安心な校内環境、教育環境づくりに努める。 ・安全教育、防災・減災教育を推進する。	B
指標 ・日常的に、教職員による校内環境の安全点検・衛生管理等を実施する。 ・交通安全教室等（年1回以上）を実施する。 ・避難訓練・防災・減災学習等（年5回以上）を計画的に実施する。	
取組内容②【基本的な方向2 豊かな心の育成】 ・あいさつ、きまりや時間を守ること、清掃の大切さを理解させる。	

<ul style="list-style-type: none"> ・なかまづくりを通して、児童の自尊感情の醸成や思いやりの心を育てる。 ・互いの違いを認め合い、自他を尊重する態度を育成する。 ・キャリア教育の充実を図る。 	B
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童会を中心に「あいさつ運動」(各学期1回)を実施し、チェックカードによる振り返りを行う。 ・「よいところさがし週間」(各学期1回)を実施し、チェックカードによる振り返りを行う。 ・異学年交流を楽しめるよう集会活動等を実施する。 ・多文化理解等につながる体験的活動(全学年:年1回)を実施する。 ・子どもの人権に関わる教職員研修(年1回)を実施する。 ・キャリアパスポートを有効活用し、次年度に引き継ぐ。 	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
<p>【安全・安心な教育の推進】</p> <p>○ 令和6年度の学校児童アンケートにおける「学校は、楽しい」の質問に肯定的回答をする児童の割合を87%以上にする。</p> <p>1学期末:92.0% 2学期末:87.2% ⇒ 目標どおりに達成することができた</p> <p>○ 令和6年度小学校学力経年調査における「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を77%以上にする。</p> <p>令和6年度:72.5% ⇒ 取り組んだが目標を達成できなかった</p> <p>○ 令和6年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。</p> <p>令和5年度:0.79% 令和6年度:0.78% ⇒ 目標どおりに達成することができた</p> <p>○ 令和6年度の学校保護者アンケートにおける「学校は、安全・安心な教育環境づくり(環境美化、環境衛生等)に努めている」の質問に肯定的回答をする保護者の割合を89%以上にする。</p> <p>1学期末:88.8% 2学期末:86.0%</p> <p>⇒ 取り組んだが目標を達成することができなかった</p> <p>○ 令和6年度の学校児童アンケートにおける「学校や家庭・地域などで地震や津波・火災が起こったとき、どう行動したらよいか知っている」の質問に肯定的回答をする児童の割合を89%以上にする。</p> <p>1学期末:94.4% 2学期末:95.2% ⇒ 目標どおりに達成することができた</p> <p>○ 令和6年度の学校保護者アンケートにおける「子どもたちは、学校のきまり(ルール)を守っている」の質問に肯定的回答をする保護者の割合を90%以上にする。</p> <p>1学期末:95.2% 2学期末:94.5% ⇒ 目標どおりに達成することができた</p> <p>○ 令和6年度の学校児童アンケートにおける「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」の質問に肯定的回答をする児童の割合を89%以上にする。</p> <p>1学期末:92.2% 2学期末:92.3% ⇒ 目標どおりに達成することができた</p> <p>○ 令和6年度の学校児童アンケートにおける「自分には、良いところがありますか」の質問に肯定的回答をする児童の割合を67%以上にする。</p> <p>1学期末:69.7% 2学期末:72.5% ⇒ 目標どおりに達成することができた</p> <p>取組内容①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日常的に、教職員による校内環境の安全点検・衛生管理等を実施した。 	

- ・ 11月5日（火）、1・2・4年対象に交通安全教室等を実施した。
- ・ 火災を想定した避難訓練<5月15日（水）>、地震・津波を想定した避難訓練<6月14日（金）>、防災の日、大阪880万人訓練に合わせた避難訓練、防災・減災学習等<9月2日（月）>、西淀川警察と連携した不審者を想定した避難訓練<11月27日（水）>、地震を想定した避難訓練<1月16日（木）>を実施した。

取組内容②

- ・ 児童会を中心に「あいさつ運動」<1学期：7月8日（月）～12日（金）>、2学期<11月25日（月）～29日（金）>、3学期：<2月25日（火）～28日（金）>を実施し、チェックカードによる振り返りを行った。
- ・ 「よいところさがし週間」<1学期：7月1日（月）～5日（金）>、2学期<12月2日（月）～6日（金）>、3学期：<2月17日（月）～21日（金）>を実施し、チェックカードによる振り返りを行った。
- ・ 児童集会（毎週木曜日）において、異学年交流を楽しめるよう集会活動等を実施した。
- ・ 全学年が多文化理解等につながる体験的活動を実施した。
1年：11月28日（木）、2年：11月26日（火）、3年：11月13日（水）
4年：11月14日（木）、5年：11月12日（火）、6年：11月25日（月）
- ・ 教育委員会より講師を招き、教員を対象に特別支援教育研修会を実施した。<2月21日（金）>

次年度への改善点

- ① 引き続き、校内での安全対策の徹底に努める。
- ② キャリアパスポートの年間を通しての有効活用を検討する必要がある。

大阪市立川北小学校 令和6年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【未来を切り拓く学力・体力の向上】 <ul style="list-style-type: none"> ○ 令和6年度の学校児童アンケートにおける「授業はわかりやすい」の質問に肯定的回答をする児童の割合を84%以上にする。 ○ 令和6年度の小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対全国を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.01ポイント向上させる。 ○ 令和6年度の小学校学力経年調査における「外国語（英語）の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を67%以上にする。 ○ 令和6年度の小学校学力経年調査における「理科の勉強は好きですか」に対して、肯定的回答をする児童の割合を77%以上にする。 ○ 令和6年度の小学校学力経年調査における「学校の友だちとの間で話会う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を32%以上にする。 ○ 令和6年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査における体力合計点を前年度より全国平均に近づける。 ○ 令和6年度の小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることが好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を59%以上にする。 ○ 令和6年度の学校児童アンケートにおける「手洗いをしている」の質問に、肯定的回答をする児童の割合を90%以上にする。 ○ 令和6年度の学校児童アンケートにおける「給食を好き嫌いなく食べている」の質問に肯定的回答をする児童の割合を84%以上にする。 	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	達成状況
取組内容③ 【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】 <ul style="list-style-type: none"> ・「自分の思いや考えを伝え合う力を育てる」をテーマとし、すべての教員が、指導法の研究や指導力向上に取り組む。 ・学習意欲の原動力となる「心」への教育刺激として、すぐれた芸術にふれる教育活動や遠足、社会見学、体験学習等を実施する。 	B

<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教員の研究授業、公開授業等を年間19回以上実施する。 ・教育指導員等を指導要請し、研究授業（年3回）・研究協議を実施する。 ・遠足、社会見学、体験学習等（全学年：年1回）を実施する。 	
<p>取組内容④【基本的な方向5 健やかな体の育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感染症対策をはじめ、児童の自主的な健康管理・衛生習慣（手洗い等）及び規則正しい生活習慣を育てる。 ・食物アレルギー対応を含め、食育の推進に努める。 ・体育的行事の充実を図り、児童が運動に親しむ機会を設けることで、児童の体力向上に取り組む。 	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・すべての児童に、感染症対策（ていねいな手洗い、アルコール消毒など）を徹底する。 ・「手洗い週間」（各学期1回）を実施する。 ・「食物アレルギー対応」、「救急救命」、「熱中症対策」、等の教職員研修（年1回）を実施する。 ・「保健だより」、「給食だより」（月1回）を発行し、家庭（保護者）への啓発をすすめる。 ・「なわとび大会」等、体育的行事を実施する。 	B
<p>年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析</p>	
<p>【未来を切り拓く学力・体力の向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 令和6年度の学校児童アンケートにおける「授業はわかりやすい」の質問に肯定的回答をする児童の割合を84%以上にする。 1学期末：89.5% 2学期末：85.7% ⇒ 目標どおりに達成することができた ○ 令和6年度の小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対全国を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.01ポイント向上させる。 3年 国語 令和6年度：0.81 算数 令和6年度：0.87 4年 国語 令和5年度：0.90 令和6年度：0.97 ⇒ 目標どおりに達成することができた 算数 令和5年度：1.05 令和6年度：1.06 ⇒ 目標どおりに達成することができた 5年 国語 令和5年度：0.98 令和6年度：0.93 ⇒ 取り組んだが目標を達成できなかった 算数 令和5年度：0.94 令和6年度：1.02 ⇒ 目標どおりに達成することができた 6年 国語 令和5年度：0.94 令和6年度：0.88 ⇒ 取り組んだが目標を達成できなかった 算数 令和5年度：1.00 令和6年度：1.04 ⇒ 目標どおりに達成することができた ○ 令和6年度の小学校学力経年調査における「外国語（英語）の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を67%以上にする。 令和6年度：76.2% ⇒ 目標どおりに達成することができた ○ 令和6年度の小学校学力経年調査における「理科の勉強は好きですか」に対して、肯定的回答をする児童の割合を77%以上にする。 令和6年度：77.0% ⇒ 目標どおりに達成することができた ○ 令和6年度の小学校学力経年調査における「学校の友だちとの間で話会う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を32%以上にする。 	

令和6年度：32.9% ⇒ 目標どおりに達成することができた

- 令和6年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査における体力合計点を前年度より全国平均に近づける。

男子… 令和5年度 51.81（全国平均 52.59）－0.78

令和6年度 52.59（全国平均 52.53）＋0.06

⇒ 目標どおりに達成することができた

女子… 令和5年度 53.31（全国平均 54.28）－0.97

令和6年度 53.33（全国平均 53.92）－0.59

⇒ 目標どおりに達成することができた

- 令和6年度の小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることが好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を59%以上にする。

令和6年度：62.8% ⇒ 目標どおりに達成することができた

- 令和6年度の学校児童アンケートにおける「手洗いをしている」の質問に、肯定的回答をする児童の割合を90%以上にする。

1学期末：97.1% 2学期末：94.5% ⇒ 目標どおりに達成することができた

- 令和6年度の学校児童アンケートにおける「給食を好き嫌いなく食べている」の質問に肯定的回答をする児童の割合を84%以上にする。

1学期末：86.9% 2学期末：84.4% ⇒ 目標どおりに達成することができた

取組内容③

- ・教員の研究授業、公開授業等（2月28日現在：25回）実施した。
- ・9月25日（水）、11月6日（水）、1月28日（火）教育指導員等を指導要請し、研究授業・研究協議会を実施した。
- ・校長経営戦略支援予算（学校配付）を活用し、社会見学、校外学習等（全学年）を年1回実施した。

取組内容④

- ・すべての児童に、感染症対策（ていねいな手洗い、アルコール消毒など）を継続した。
- ・「手洗い週間」：1学期<6月24日（月）～28日（金）>、2学期<11月5日（火）～8日（金）>、3学期<1月27日（月）～31日（金）>を実施した。
- ・「食物アレルギー対応」、「救急救命」、「熱中症対策」等の教職員研修（年1回）を実施した。
- ・「保健だより」、「給食だより」（月1回）を発行し、家庭（保護者）への啓発をすすめた。
- ・「なわとび週間」等、体育的行事を実施した。

次年度への改善点

- ③ 「深い学びにつながる数学的見方・考え方の探求」（算数科）を研究主題として、今後も、児童の学力向上をめざし、授業改善に向けて取り組む。
- ④ 「なわとび大会」等、体育的行事を充実させる。

大阪市立川北小学校 令和 6 年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【学びを支える教育環境の充実】 <ul style="list-style-type: none"> ○ 令和 6 年度において、授業日において、児童の 8 割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の 50% 以上にする。[ただし、事務局が定める学校行事等 ICT 活用が適さない日数を除く] ○ 令和 6 年度の学校保護者アンケートにおける「学校は、ICT (1 人 1 台学習者用端末、デジタル教材、協働学習支援ツール等) を活用した学習をすすめている。」の質問に肯定的回答をする保護者の割合を 79% 以上にする。 ○ 令和 6 年度において、「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間に関する基準 1 を満たす教員の割合を 82% 以上にする。 ○ 令和 6 年度の学校児童アンケートにおける「読書が好きですか」の質問に肯定的回答をする児童の割合を 79% 以上にする。 	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	達成状況
取組内容⑤【基本的な方向 6 教育DX (デジタルトランスフォーメーション) の推進】 <ul style="list-style-type: none"> ・授業における ICT 機器 (電子黒板、タブレット等) の積極的な活用に努めるとともに、オンライン学習等の推進に取り組む。 	B
指標 <ul style="list-style-type: none"> ・各学級、学習室等で、ICT 機器 (電子黒板・タブレット等) を活用した学習活動等を (週 5 回以上) 実施する。 	
取組内容⑥【基本的な方向 7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】 <ul style="list-style-type: none"> ・教職員の働き方改革を推進し、しなやかな組織づくりに努める。 	B
指標 <ul style="list-style-type: none"> ・日々の最終退勤時刻を 18 時 30 分 (4 時間授業期間は、18 時 00 分) に設定し、教職員に周知することで、教職員の時間外勤務縮減への意識の向上を図る。 ・会議の精選等をすすめるとともに、週に 1 日ゆとりの日を設定する。 	
取組内容⑦【基本的な方向 8 生涯学習の支援】 <ul style="list-style-type: none"> ・学校図書館の整備 (蔵書の整理、データベース化等) をすすめる。 ・児童の学校図書館を活用した調べ学習・読書活動を推進する。 	B

<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校図書館の整備（蔵書の分類・整理、データベース化等）をすすめる。 ・学校図書館の開館（年間35回以上）、学校図書館を活用した調べ学習・読書活動等（各学級各学期1回以上）を行う。 	
<p>取組内容⑧【基本的な方向9 家庭・地域等との連携・協働した教育の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域・進学中学校と連携した教育活動（交流行事、合同授業等）を実施する。 	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・登下校時の見守り活動をはじめ、地域ボランティアによる学校支援の取組をすすめる。 ・進学中学校教員との合同授業（体育科）を実施する。 	B
<p>年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析</p>	
<p>【学びを支える教育環境の充実】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 令和6年度において、授業日において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の50%以上にする。[ただし、事務局が定める学校行事等 ICT 活用が適さない日数を除く] 1月末現在：83.0% ⇒ 目標を上回って達成した ○ 令和6年度の学校保護者アンケートにおける「学校は、ICT（1人1台学習者用端末、デジタル教材、協働学習支援ツール等）を活用した学習をすすめている。」の質問に肯定的回答をする保護者の割合を79%以上にする。 1学期末：78.9% 2学期末：78.1% ⇒ 取り組んだが目標を達成することができなかった ○ 令和6年度において、「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間に関する基準1を満たす教員の割合を82%以上にする。 2月末現在：100% ⇒ 目標を上回って達成した ○ 令和6年度の学校児童アンケートにおける「読書が好きですか」の質問に肯定的回答をする児童の割合を79%以上にする。 1学期末：80.4% 2学期末：78.8% ⇒ 取り組んだが目標を達成することができなかった 	
<p>取組内容⑤</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日々、各学級、学習室等で、ICT機器（電子黒板・タブレット等）を活用した学習活動等を実施した 	
<p>取組内容⑥</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日々の最終退勤時刻を18時30分（4時間授業期間：18時00分）に設定し、教職員の時間外勤務縮減への意識の向上を図った。 ・会議の精選等をすすめるとともに、週に1日ゆとりの日を設定した。 	
<p>取組内容⑦</p> <ul style="list-style-type: none"> ・7月中旬より、学校図書館の整備（蔵書の分類・整理、データベース化等）をすすめた。 ・学校図書館の開館（2月28日現在：59回）、学校図書館を活用した調べ学習・読書活動等（各学級各学期1回以上）を行った。 	
<p>取組内容⑧</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日々、登下校時の見守り活動をはじめ、地域ボランティアによる学校支援の取組をすすめた。 ・毎週水曜日、進学中学校教員との合同授業（体育科）を実施した。 ・11月12日（火）、進学中学校での体験授業、部活動見学・体験を実施した。 	

次年度への改善点
⑤ 本校でのＩＣＴ機器を活用した学習活動については、定着しつつあるが、保護者に向けての積極的な啓発活動が必要である。
⑥ 働き方改革をめざし、引き続き、教職員の時間外勤務縮減への意識の向上を図る。
⑦ 学校図書館での学習活動をより充実させる必要がある。
⑧ 学校・地域・保護者・関係機関が連携し、課題である登下校での安全対策の充実を図る。